

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		したまちの魅力発信				所管	文化産業観光部 にぎわい計画課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	観光団体等観光振興事業助成金交付要綱			
	事業対象	来訪者						
	事業目的	本区の魅力を発信することで、地域の活性化につなげる。						
	事業内容	※昨年実施した「東京スカイツリーからの回遊性向上」事業を継続して、「したまちの魅力発信」事業として実施する。 ・観光情報誌「台東瓦版」の発行および配布 ・重ね地図「上野・浅草・隅田川歴史散歩」の有償頒布 ・「したまちフードフェス」事業助成						
	委託の有無	一部委託		委託内容	台東瓦版制作委託			
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	「台東瓦版」配布数 部		50,000	-	100,000	50,000	
		「重ね地図」販売数 部		600	409	727	621	
	成果指標	来訪者の滞在時間が3時間以上の割合 %		60.0	-	56.7	-	
	決算額 (単位：千円)				5,033	41,369	5,574	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			10,801	13,328	10,226	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			4,434	28,922	3,775	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			600	12,448	1,800	
		総経費			15,835	54,698	15,801	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	3,660	1,915	
		その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0	
一般財源（区負担額）			15,835	51,038	13,886			
前年度から改善した事項		・台東瓦版は、発行部数や誌面構成の見直しをした。 ・「したまちフードフェス」への助成金を削減した。 ・重ね地図は、都内大型書店等への販路を拡大した。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	4	地域の活性化を図る上で、来訪者に本区を回遊してもらうことは大変重要であり、事業の必要性は高い。					
	効率性	4	瓦版の発行部数や内容等の見直し、「したまちフードフェス」の事業内容の改善等によって、効率性は改善されており、コストパフォーマンスは高い。					
	手段の適切性	3	まちの魅力の発信や地図、アクセス方法など着地型の情報提供が重要であり、情報提供ツールとしては、持ち歩きができる情報誌等が適している。					
	目的達成度	3	瓦版は多くの人に活用されており、本区の回遊性向上に貢献している。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
来訪者の回遊を促すことは地域の活性化を図る上で大変重要であり、本事業を継続して実施していく必要性は高い。							維持	